

国語 知識・技能総合入試2期

(解答番号 ① ～ ⑯)

次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】は、いずれも齋藤純一「国際社会における公共哲学」(『公共哲学入門 自由と複数性のある社会のために』所収)の一節である。これを読んで、後の問い(問1～6)に答えなさい。解答番号は ① ～ ⑯。

【文章Ⅰ】

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、

問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、

問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

【文章Ⅱ】

著作権保護の観点から、
問題文は掲載していません。

著作権保護の観点から、

問題文は掲載していません。

問1 二重傍線部A～Eに相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それ

ぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は①～⑤。

A コウキョウケン

①

① 雪でシュトケンの交通が麻痺した。

② ピアノでショケンの楽譜を弾く。

③ 我が社運は君のソウケンにかかっている。

④ 瞬く間に市場をセッケンした。

⑤ ジンケンでできたストックキング。

B コシツ

②

① 業界のシツギョウリツが下がる。

② カタツムリ飼育に最適なシツド。

③ 手を叩いてシツジを呼ぶ。

④ キョシツが暑いのでエアコンを入れる。

⑤ 高いヒンシツを誇る商品。

C シュクゲン

③

① シュクシュクと作業を進める。

② 学校は社会のシュクズである。

③ 長年のシュクガンを果たす。

④ 兄は太宰治にシシュクしている。

⑤ 前途をシュクフクする。

D コカツ

④

① 祖母はコキを迎えた。

② コジンをしのぶ会を開く。

③ 敵陣に斬り込みコゲンフントウする。

④ 年齢を重ねてコタンの境地に至る。

⑤ コウコの憂いを断つ。

E ヒダイ

⑤

① ヒシシヨクブツの化石を調べる。

② 男女のヒリツを等しくする。

③ 彼は容疑をヒニンしている。

④ ジヒ深い表情を浮かべた聖母の絵。

⑤ 畑にヒリヨウをまく。

問3 傍線部イ「いわゆる対症療法を超えた取り組み」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は ⑧。

① 国際社会の秩序の維持のために即時対応が求められるものに対して、国連の諸機関などが一定の力を発揮していくこと。

② 公衆衛生の危機や人権が脅かされる人道的危機などに対して、公共的な注目を喚起するために、緊急支援などを行うこと。

③ グローバルな制度を創設し、国際社会のステークホルダーの意見や意思を国際的な政策決定につなげていくこと。

④ グローバルな不平等を生み出す構造的な問題に対して、長期的な視点で人々の意識に変化をもたらす社会運動を継続すること。

⑤ 諸国家の協調のもと、現状の制度や慣行そのものには手を加えることなく、喫緊の問題に対して一時的な措置を施すこと。

問4 傍線部ウ「『世代間正義』とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は ⑨。

① 人口過剰による環境の悪化などの国際社会の公共の問題を、世代を超えて協力し合って乗り越えるための指標。

② 地球資源の有限性を説き、運命共同体としての国家間の協調を図るために提唱された「宇宙船地球号」という概念。

③ 前世代からまだ生まれていない将来の後世代に対して配慮する責任を課題とする、時間軸をもった倫理論。

④ あらゆる個別的な責任よりも、「人類の存続への責任」を、最も重大な課題として優先することを正義とする思想。

⑤ 生物多様性を含む地球環境の保全を図ることが人類の責任であることを広く周知させるための公的な動き。

問5 波線部「生命と対比される世界への関心の回復を求めたアーレントの議論」とあるが、

【文章Ⅱ】はそれに関連する部分である。【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】を踏まえて、(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 傍線部エ『社会的なものの』の領域から排除されるのは、『世界への関心』である。」とあるが、アーレントはなぜ「世界への関心」が排除されることを憂慮したのか。その説明として最も適当なものを、次の⑩～⑮のうちから一つ選びなさい。解答番号は

⑩。

① 世界は人びとの「間」に介在し、人びとを結びつけるものであるため、世界と共に生きるということを忘れてしまえば、人びとの間に隔たりが生まれてしまうから。

② 世界はこれまで人間の手で構築されてきたものであるにもかかわらず、近代社会は、これまで蓄積されてきたものをすべて前近代的なものとして排除してきたから。

③ 世界は生命を超えた耐久性をもつのに、生命の維持や増強に資するか否かという観点からのみ評価することにより、世界の妥当性が排除されてしまうから。

④ 世界を構成する思想や芸術作品、建築物、法や制度などは次の世代に受け渡していくべき資本であり、その時々々の利害関心に左右されることなく存続すべきものだから。

⑤ 空間的にも時間的にも人びとの「間」に介在する世界の事物を「社会的なもの」の領域から排除すれば、いずれ「社会的なもの」までも失われてしまうから。

(2) サミュエル・シェフラーの考えは、アーレントの議論に「通じるところがある」とあるが、どのような点で共通するのか。その説明として適当でないものを、次の⑩～⑮のうちから一つ選びなさい。解答番号は⑪。

① 過去の世代が蓄積してきた資本が未来に生きる人びとの根本的利益になり、それが空間的・時間的に我々を結びつけていると考えている点。

② 公共的な価値のあるものを恣意的に処分して、将来世代の人びとの利益を回復不可能な仕方で損なうことを戒めている点。

③ 現代の人びとが長期的な視点をもたず、人類共通の資本を自己利益のために使うことは、社会正義に反することであると考えている点。

④ 社会的協働は諸世代にわたるものであり、現代の人びとが自己優先を図れば、資本の蓄積自体が自己目的化されると戒めている点。

⑤ 先行する諸世代が価値づけてきたものを守り、正義にかなった社会の基礎構造を持続可能なものとするべきであると考えている点。

問6

次の(1)～(5)は、本文を読んだ生徒五人の感想である。本文の内容や趣旨に照らして、適当なものには⑩を、適当でないものには⑪を、それぞれ選びなさい。解答番号は

⑫

⑬

。

(1) 生徒A——国際社会には貧困や不平等が存在しているけれど、そのことが交渉力の違いとなって、政治的な格差を生むんだね。交渉力や発言力の違いは、優位な側にとって都合のいい制度の創設や維持につながるから、貧困や不平等にいつそう拍車をかけることになりそうだ。

⑫

(2) 生徒B——だからこそ、ステークホルダーの代表が実質的な政策形成の過程に参加できるようになるべきなんだよ。たとえば、発展途上国との貿易において、公正な取引を行って途上国の人びとの生活を助けるフェアトレード運動の広がりがその成果の一例と言えるね。

⑬

(3) 生徒C——不正義の再生産を解消するためには、制度の改革をただ待っているのではなく、ステークホルダーの代表や社会運動の当事者が、情報やリソースを共有し意思決定の過程に参加して、運動の成果をデータとして明確に測定できるようにすることが必要だね。

⑭

(4) 生徒D——社会運動の当事者には「エンパワーメント」が重要だともあったね。直面している問題に対してけっして無力ではなく、自律性と支援によって外的に影響を及ぼせるという認識は、社会運動の当事者でなくても必要なことだと思ったよ。

⑮

(5) 生徒E——グローバル化が深まった現代では、多元的に分かれた利害や価値観をどのように一元化するのが問われていて、食糧危機、難民問題、安全保障上の危機など多くの重要問題の解決に向けて、フォーマルなグローバル・ガバナンスが必要だと筆者は訴えているんだね。

⑯